

2歳児 探究テーマ： 水 ～水に入れるとどうなる？

ありんこ保育園 2歳児：猪俣

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none">・プール活動が終わり公園に散歩に出かける機会が増える。・お散歩バックを持って出かけ、公園で見つけたどんぐりや落ち葉・枝などを拾いバックに入れてお土産にする。
「問い」を考える	<ul style="list-style-type: none">・水の中に入れる前に「入れたらどうなるかな？」・水の中に入れてみたら「どうなった？」・素材によって入れた時の違いは？
活動デザインする	<ul style="list-style-type: none">・手作りお散歩バックを持って公園に出かけ、公園でどんぐりや石・枝など自分の好きなものを入れる。・水槽など透明で中身が見える容器に水を入れておき、拾ってきたものを水に入れてみる。・保育者も一緒に様々な自然物を水に入れてみる。・浮かんだり沈んだりする様子を見たり沈み方など感じたことや違いに気づく。
環境をデザインする	<p>◆普段の散歩の延長で活動できるように設定する。</p> <ul style="list-style-type: none">・公園にお散歩バックを持って出かけ、どんぐりや落ち葉・石などの自然物を拾う。・水を入れた水槽などは公園の机に置き、子どもの目線の高さになるように配置する。・子どもの表情や言葉などを見逃さないように2、3人ずつ活動する。 <p>※雨天の場合：事前に保育者がどんぐりや落ち葉などを拾って用意する。室内の机の上に水を入れた水槽を用意し活動を行う。</p>
小グループを構成する	<ul style="list-style-type: none">・2歳児：2、3人ずつ行う。(全7名)
準備するもの	<ul style="list-style-type: none">・お散歩バック・水槽や虫かごなど透明容器に水を入れたもの <p>※雨天時は事前に保育者がどんぐりや落ち葉などの自然物を用意する。</p>



ありんこ保育園 猪俣

2歳児 探究活動③：水

～水に入れるとどうなる？～

「水に入れると どうなる？」

- ・水のいった水槽をライトテーブルの上に置く。
- ・どんぐり、帽子、落ち葉など自然物を用意。

「ポトンて入れたらどうなるかな？」



グループ①

3人で行う。それぞれ好きな自然物を入れる。

保育者が高い所から落とすと水の中を落ちていく様子をじっと見ている。

S: 「おっこちたー！」

浮いているどんぐりの帽子を「上にいるね！」

底にあるものは「下にいる！」

おとすよー！

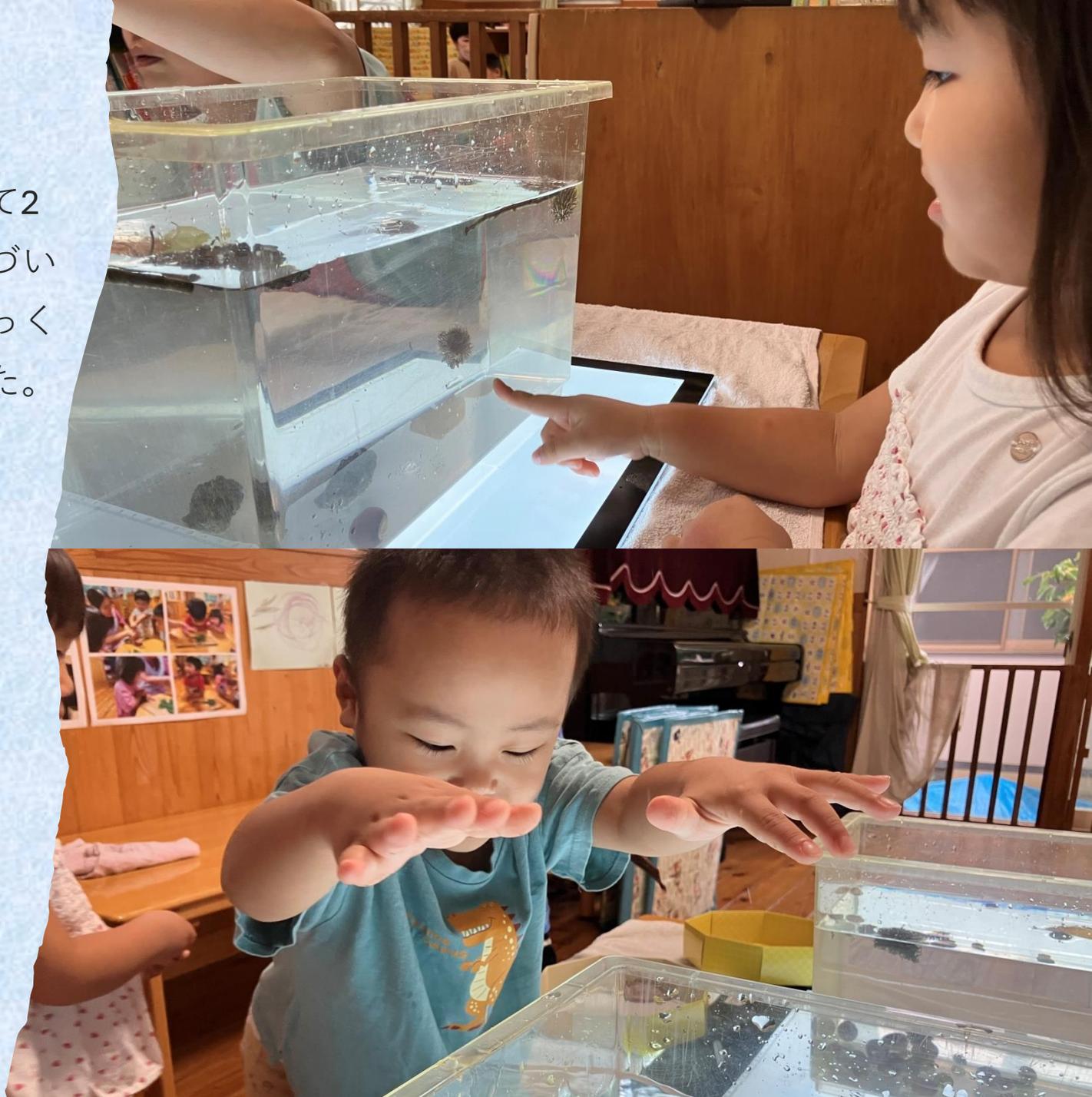
じー・・・

上にいるね！



M：保育者がどんぐりと帽子を「せーの」で一緒に落とす。落ちていく様子をじっと見て2つの落ちていくスピードが違うことに気づいた様子。「はっ！」とした表情の後にゆっくり落ちていく帽子を繰り返し観察していた。

S：途中で水に入れることが楽しくなってきたてポイポイ落として楽しんでいた。



グループ②

グループ①の時に1つの水槽で複数人行うと遊びだしてしまいうちもいてじっくり観察出来ない事から1人1つの水槽で行う。素材も1種類ずつ出し、入れるばかりでなく落ちる様子にも目を向けられるようにした。

Y:
どんぐりの帽子が浮いていることに気づく。

帽子に指を入れて水面を移動させる。小さな帽子も浮かべて指を入れていた。

水に両腕を入れて揺らし、水面や中の自然物が揺れる様子を見て「お舟〜」





B:
浮かんでいる様子をじっと見ている。
保育者が浮いているものを「どうなった?」と聞くと
「動かない!」



ぎゅっと底に沈めた枝が離すと浮いてきた!
「ん?」とじっと見つめて何度か繰り返す。



グループ③

1人1つの水槽、保育者と1対1でゆったりと行う。

高い所から落とすと底に当たり「カタン」と音がする事に気づいたり、水に入った時にしぶきが上がったり水面に波紋が広がる様子をじっと観察していた。



K:

どんぐりの帽子が浮かんでいるのを沈めようと指でちょんちょんと押すが、すぐに浮き上がってきてしまう。

「あれ？あれ？」と何度も押して沈めようとしていた。

YK:

どんぐりの帽子を水に入れるとゆっくり落ちていく様子をじっと見つめて観察している。とても興味を示して帽子を入れてはじーっと見つめるのを繰り返し、すべて入ると自分で水から出していた。

保育者が次の素材を渡すまで集中してやっていた。



①

落ち葉は浮かんで
てしまうので両腕を入
れて下に沈めてみる。

でも手を離すとまた浮
いてくる。



②

今度は横から投げ入れ
てみる。

「う～ん、沈まない
なあ、、、」



③

じゃあそーっと入れて
みよう。

下まで沈めてから手を
そっと離す。



④

最後は手で底に押し
付ける。

でも手を離すとやっ
ぱり浮かんでくる。



落ち葉を沈めたい！

振り返り（実践者）

※戸外で活動する予定だったが、雨天の為室内に変更する。

【どんぐり、どんぐりの帽子（クヌギ・コナラ）、落ち葉、枝、木の皮】

- 室内での活動に変更し、水槽下にライトテーブルを置いて光を当てるようにした。明るくなり、水槽の中が見やすくなった。
- 最初のグループは3人で2つの水槽を使った為、ひとりひとりがじっくり取り組めない様子が見られた。次のグループからは一人ひとつの水槽にし、自然物も1種類ずつ出してじっくり観察ができるようにしていった。途中でやり方を変更したことで②、③グループは水槽の中の様子に興味を持ったり集中している様子が見られるようになった。乳児クラスだと様々な姿を想定しての環境設定、臨機応変に環境を整えていくことも大切だと思った。
- 特に最後のYKは終始無言で「水槽に落とす→観察する」を繰り返していた。集中している様子だったので問いかけは少なくし、様子を見守った。自分なりに落ち葉を沈めようと考えて試したり、ゆっくり落ちていくどんぐりの帽子に不思議を感じている様子が見られた。こんなに集中するとは思わなかった。
- 今回の活動では子どもの言葉や行動、表情などにより注目していった。保育者と子ども1対1で関わりながらじっくり活動出来たので底に落ちる音、水面の様子など色々な事に気づく様子が見られた。



振り返り（園全体）①

- 活動の様子を見たが、とても集中していた。30分程集中していたことに驚いた。
- ライトテーブルを使ったことで水槽の中が明るくなり見やすくなった。子ども達が興味を示し集中出来たのだと思う。
- 一人ひとつの水槽を独占して使うことが出来て集中出来たのだと思う。
- 用意した素材を使う時、出し方や子どもへの提供の仕方などの工夫で集中力がかわってくる。
- 保育者と一対一で関わりながら活動したことでその子の発見に保育者が気づくことが出来た。浮く、沈む以外にも底に落ちた音や水面の波紋にも気づく事が出来た。
- 2才児では言葉が出てはいるが、集中していて言葉に出ない姿もある。言葉のない分、ドキュメンテーションの写真の表情で夢中になっている様子や気づきがわかる。言葉に出ない分、表情によく出ていた。



振り返り（園全体）②

- 最後のドキュメンテーションは試行錯誤の様子が写真でよくわかる。この子がこんなに集中したり考えることに驚いた。知らない一面が見られた。
- 活動中に環境設定を変更していった。最初と最後のグループで子どもの集中力や保育者の関わり方がかわっていき、それによって引き出せたことが多くあった。環境設定の大切さを感じた。
- 水槽のサイズが小さかったと実践者から話があったが、子どもの手が底まで届くちょうどいいサイズだったのではないかと思う。次回にやるなら色々なサイズを用意しても面白そう。
- 水槽に手を入れることが日常ではあまりない。普段から出来るといいかもしれない
- 水面にえのぐを垂らすと色が広がっていく様子も見られて面白そう。
- 水槽をライトテーブルに乗せてベランダに置くと太陽の光が当たり違った様子が見られていいかもしれない。

